

製品名: アルドラーゼ A ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06768**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	39kDa

抗原情報

遺伝子名	ALDOA
別名	ALDOA; ALDA; Fructose-bisphosphate aldolase A; Lung cancer antigen NY-LU-1; Muscle-type aldolase
遺伝子 ID	226.0
SwissProt ID	P04075
免疫原	抗血清はヒト ALDOA 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 1-50

背景

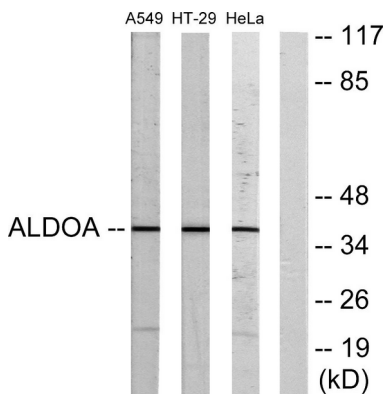
この遺伝子によってコードされるタンパク質、アルドラーゼ A (フルクトースビスリン酸アルドラーゼ) は、フルクトース-1,6-ビス

リン酸からグリセルアルデヒド 3-リン酸とジヒドロキシアセトンリン酸への可逆的な変換を触媒する解糖酵素です。3つの異なる遺伝子によってコードされる3つのアルドラーゼアイソザイム (A、B、C) は、発生過程において異なる発現を示します。アルドラーゼ A は発生中の胚に存在し、成体の筋肉ではさらに大量に産生されます。アルドラーゼ A の発現は成体の肝臓、腎臓、腸管では抑制されており、脳やその他の神経組織におけるアルドラーゼ C のレベルと同程度です。アルドラーゼ A の欠損は、ミオパシーや溶血性貧血と関連しています。選択的スプライシングと選択的プロモーターの使用により、複数の転写産物バリエーションが生じます。関連する擬似遺伝子が第 3 染色体および第 10 染色体上に特定されています。[RefSeq 提供、2011 年 8 月]、触媒活性:D-フルクトース 1,6-ビスリン酸 = グリセロンリン酸 + D-グリセルアルデヒド 3-リン酸。疾患:ALDOA の欠陥は、アルドラーゼ A 欠損症 [MIM:611881] の原因です。アルド A 欠損症または赤血球アルドラーゼ欠損症としても知られています。アルドラーゼ A 欠損症は、遺伝性溶血性貧血に関連する常染色体劣性疾患です。、その他:脊椎動物では、この普遍的な解糖酵素の 3 つの形態が見つかります。筋肉にはアルドラーゼ A、肝臓にはアルドラーゼ B、脳にはアルドラーゼ C です。経路:炭水化物の分解; 解糖; D-グルコースからの D-グリセルアルデヒド 3-リン酸とグリセロンリン酸: ステップ 4/4。、類似性: クラス I フルクトースビスリン酸アルドラーゼファミリーに属します。、サブユニット: ホモテトラマー。、

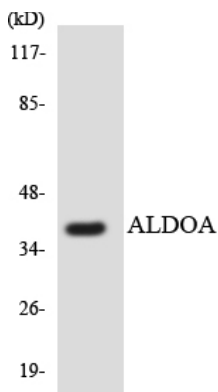
研究分野

解糖系/糖新生;ペントースリン酸経路;フルクトースおよびマンノース代謝;

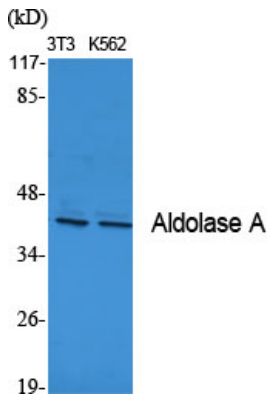
画像データ



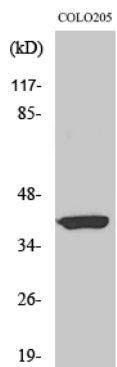
A549 細胞、HeLa 細胞、HT-29 細胞のライセートを ALDOA 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーン合成ペプチドでブロッキングされている。



ALDOA 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



1: 1000 に希釈したアルドラーゼ A ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



1: 1000 に希釈したアルドラーゼ A ポリクローナル抗体を用いた HT29 細胞のウェスタンブロット分析